

校内研究報告会を行いました

成果 (1) 考える視点を明確にした目標の提示

見方・考え方をプラス!

- ・ **学習のポイントを可視化する**
- ・ **目標を板書に残す**

写真
映像



気を付けるべき点を意識して取り組む姿の増加
必要な時に確認できる工夫への気づき



ここに注目して考えればいいんだ!

成果 (2) 目標達成に向けた意図的働き掛けの工夫 ①発問

- ・ **キーワードとなる言葉を強調しての問い掛け**
- ・ **根拠を問う**「どうしてそう思ったの?」
- ・ **検証するような問い掛け**「本当にそうなのかな?」

→ 曖昧だった理解の明確化

考えの広がり

言葉で説明する力の育成



見方・考え方をプラス!

どうしてOOだと思ったの?
本当にそうかな?

だって△△だから。
前習った△△を使うと、OOになるよ。



成果 (2) 目標達成に向けた意図的働き掛けの工夫 ②交流場面

見方・考え方をプラス!

- ・ **互いの活動が見合える場の設定**
- ・ **生徒の発言を他の生徒にも問う**
- ・ **実態に応じたグループ分けの活動**

自他の意見の違いや共通点への気づき
主体的に関わり合う姿



成果 (3) 目標に沿った振り返り

単元の学びに合った振り返りの仕方

見方・考え方をプラス!

<技術を習得する学習>

- ・ **映像での振り返り**
- ・ **単元の導入時と終末時の姿を見比べる**



<知識を習得する学習>

- ・ **まとめの問題を解く**
- ・ **その教科の用語を用いてワークシートにまとめる**



課題 児童生徒一人一人に合った手立ての準備

- ・ **誰に、どの場面で、どのような教材を使うのか整理**
- ・ **手立てを徐々に減らしていく必要性**

児童生徒一人一人の
自立活動の視点における配慮の明確化

多面的な
実態把握

指導目標の
見直し

指導場面の
検討

今年度は、『各教科の見方・考え方を働かせた授業づくり』をテーマに、小学部・中学部・高等部の学部縦割りで教科グループを編成し、研究に取り組んできました。本研究を通して、ねらいを明確にした授業づくりや交流活動場面の設定について、実践を積み重ねることができました。一方で、より目標を意識した学びを引き出すためには、児童生徒の一人一人の自立活動の視点における配慮を明らかにし、適切な場面で必要な支援を講じていく必要があるとの課題も見えてきました。

まとめと次年度に向けて



学部縦割りの教科グループ

見方・考え方を働かせるための有効な意図的働き掛けを考えて、授業の組み立て・実践・検証ができた

個々の実態に合った手立ての整理



まとめと次年度に向けて

児童生徒一人一人の自立活動の視点における配慮の明確化

適切な場面で必要な支援を!



次年度は、特別支援教育の根本である自立活動に焦点を当て、学習上又は生活上の困難の視点で個々の実態を整理し、自立活動における具体的な指導内容と授業とのつながりについて研究を推進して参りたいと思います。

